

科 目 名	相談援助演習Ⅳ					開 講 キャンパス	神 埼
担 当 者	岡部由紀夫・大川 絹代・大西 良・土井 幸治・久保 英樹						
開 講 年 次	3 ・ 4	開講期	前期	単位数	1	必修・選択	選 択
授業の概要 及びねらい	本授業では、事例検討を通して相談援助実践に必要な知識や技術を確認したうえで、それらを体験的に習得できるようロールプレイなどの演習を行う。また、実習の準備教育の一環として、具体的な場面を想定した実技指導も行う。						
授 業 の 到達目標	1) 事例を通して、地域で生活する高齢者・障害者への支援過程を理解する。 2) 事例を通して、相談援助におけるアセスメントの視点を理解する。 3) 相談援助で用いられる社会資源について説明できる。 4) 相談援助における記録方法を身につける。 5) 演習を通して、相談援助におけるプランニングの方法を学ぶ。 6) 事例を通して、チームアプローチの実際を理解する。 7) 自己の体験や考察を言語化する技術を身につける。						
学 習 方 法	グループ討議やロールプレイを中心とした演習						
テキスト及 び参考書等	特に指定しない。必要に応じ資料等を配布する。						
評 価 基 準 ・ 方 法	到達 目 標						
	知識・理解	思考・判断	関心・意欲・態度	技能・表現	評価割合%		
定期試験							
小テスト等							
宿題・授業外レポート	○	◎	◎	○	30		
授業態度							
受講者の発表	○	◎	○	◎	20		
授業への参加度		○	◎	○	50		
その他							
合 計						100	
(表中の記号 ○評価する観点 ◎評価の際に重視する観点)							
授業計画（学習内容・キーワードとスケジュール）							
第 1 週	オリエンテーション						
第 2 週	相談援助事例 1（高齢者）						
第 3 週	相談援助事例 2（障害者）						
第 4 週	相談援助と社会資源（グループ討議）						
第 5 週	相談援助における社会資源の活用 資料作り（課題）						
第 6 週	相談援助における社会資源の活用 情報提供（ロールプレイ）						
第 7 週	アセスメントに必要な知識（身体機能）						
第 8 週	アセスメントに必要な知識（心理的発達）						
第 9 週	アセスメントに必要な知識（心理的発達）						
第 10 週	相談援助過程 1：アセスメント・情報収集						
第 11 週	相談援助過程 2：アセスメント・情報の整理と分析						
第 12 週	相談援助過程 3：プランニング						
第 13 週	相談援助過程 4：モニタリング						
第 14 週	相談援助過程 5：再アセスメント						
第 15 週	まとめ						
第 16 週							
備 考	【授業外の学習】・受講前には「相談援助の理論と方法」等の講義で学習した範囲を復習しておくこと 【その他】・出席回数が開講回数の 2／3 に満たない場合は、評価対象としない						